

読書感想画コンクールに対する指導に向けて 小学校における読書感想画の取り組み

読書感想画の指導では、読書指導に力を入れることはもちろんですが、自己表現力を育て、豊かな心の土壌づくりをし、絵を描きたいと思う場面をイメージさせることが大切だと考えます。常に心のイメージトレーニングができて、自分なりの表現を楽しむ習慣が育っていると、感想画を描くことについて抵抗が少ないと思います。

具体的な取り組みを紹介しましょう。

自由読書における感想画の制作では、絵を描くための本選びから描画材や場面決定まで、一人ひとりが楽しみながら取り組むとよいでしょう。指定読書の制作については、担任が読み聞かせを行うなどの工夫が必要でしょう。(指定図書を子どもたちに紹介し、読後に絵を描いてみたい本はどれかなという投げかけをして、子どもたちに興味・関心を促す。)

1回目の読み聞かせ後、感想を話し合う。(登場人物の行動を友だち同士で劇化して遊んだり、続きを創作したりして本を身近なものにする。)

2回目の読み聞かせ後、描きたい場面を自由に割り箸ペンやスケッチペン、クレヨンなどで下絵を描く。(2回目の朗読後は、一人ひとりのイメージが消えないよう配慮し、さらに思いが膨らむようにするためにおしゃべりをしないようにする。)また、イメージは浮かんだが思うように描けない子どもには、そのわけを聞いて描き始めるような方策を考える。

構図や下絵がまとまったら、楽しい色使いで彩色する。(各自色使いを意識しながら、その子なりの思いで彩色する。スタンプングやコラージュ等のいろいろな技法を生かすように助言する。)

作品を見せ合う。(制作途中で互いの作品を鑑賞し、よいところを褒めたりもっと工夫したらよいところを励まし合ったりする。また、友だちの作品のよさを自分に生かし、さらに取り組もうとする意欲をもたせる。)

作品を完成させる。(一生懸命に描いた満足感や達成感を味わわせたい。)

以上のような指導をとおして教師は、子どもの感動、喜び、驚きなどに共感し、豊かな感性を見つめ、子どもが楽しんで感想画を描く心を育てることが大切です。学校5日制にともない、土曜日や日曜日の有意義な過ごし方にも配慮し、その一助として読書への関心を高め、豊かな人間性を培っていききたいものです。

なお、詳しい指導の手引きとしては、当会より『読書感想画の指導』(税込定価2,650円)と学校図書館入門シリーズ11『はじめよう 読書感想画の実践』(税込価格840円)を刊行しています。参考図書として活用してください。

読書感想画コンクールに対する指導に向けて
中学校・高等学校における読書感想画の取り組み

「読書感想画」とは、読書を通じて得た感動を、その子どもなりのイメージをもとに「絵画」として表現することです。素晴らしい読書体験から得たさまざまな感動や印象、イメージの広がり、思考の深まりなどをもとに自分だけの絵画世界をつくり上げていくことで、より深い読書体験を得ることになります。生徒の読書活動をより推進させるためにも積極的に取り組みましょう。たとえ一人からの応募であっても可能ですので、図書館担当、国語科担当、美術科担当の教師が互いに協力し合って、「読書感想画」の制作を生徒に勧めてください。

事前の準備と指導に当たっての留意点を次に述べます。

準備について

カレンダーや応募のポスターは、学校のさまざまな場所に掲示してあるか。

指定図書の購入は手配してあるか。

指定図書を読ませる時間的な確保は考えてあるか。

募集要項を熟読し、条件を把握しているか。

授業で取り組んだり生徒が個人的に応募したりできるように、学校の協力体制ができているか。

美術担当の教師との協力体制はできているか。(いつでも生徒を支援できる体制か。)

生徒に絵を描かせる準備ができているか。(用紙など)

生徒に「読書感想画」について詳しく説明し、描こうという意欲を持たせるための時間的確保はしてあるか。

指導について

十分に本を読ませ、深まりのある読書活動とさせる。

下絵の段階で、よく検討して練らせる。(その際に、美術科の教師から協力を得られるようにする。)

下絵の段階で、本の挿絵や表紙の絵などからの影響がないか確認する。(その子なりのとらえ方の絵になっているか。)

適切な大きさや材質の紙を与え、画材なども工夫させる。

着色や仕上げの各段階で美術科の教師から協力を得られるようにする。

作品の裏に貼る応募票や作画感想は適切か確認する。

基本的に生徒に時間を与えることと、困ったときに相談にのることができる体制を学校としてとることが大切です。深まりのある読書があって初めて魅力ある感想画が誕生します。美術科の教師の協力が得られない場合でも、生徒が制作をしている途中段階で絵を持ってこさせ、じっくりと生徒と話して褒め、励ましていくことが大切です。

なお、詳しい指導の手引きとしては、当会より『読書感想画の指導』(税込定価 2,650 円)と学校図書館入門シリーズ 11『はじめよう 読書感想画の実践』(税込価格 840 円)を刊行しています。参考図書として活用してください。